

林道事業再評価調書

事業名	林道開設事業（森林基幹道）	路線名	ほしごえこうべまるせん 星越神戸丸線																	
事業主体	徳島県	関係市町村	那賀町(旧上那賀町、旧木頭村)																	
事業	【目的】 本路線は、那賀町(旧上那賀町)、那賀町(旧木頭村)の境界稜線を中心とした広大な人工林地帯の森林整備を行う上で重要な基幹林道として整備するもので、森林の持つ多面的機能の発揮や中山間地域の雇用の創出のため必要不可欠な路線である。 また、当路線は(旧上那賀町)と(旧木頭村)を連絡する林道海川野久保線と町道海川出原線とを連絡しており、国道195号や林道南川線の被災時には宇井ノ内地区(旧木頭村)のほか民間キャンプ場(キャンプパークきとう)の迂回路や木材搬出の代替路としての役割も期待されている、地域にとって欠くことのできない非常に重要な路線である。																			
	【内容】 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">利用区域面積</td> <td style="width: 30%;">996ha</td> <td style="width: 40%;">[人工林面積:871ha (87%)]</td> </tr> <tr> <td>受益戸数(森林所有者数)</td> <td>167戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>3.5～4.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画延長</td> <td>16,200m</td> <td>(うち令和5年度末の供用予定延長 12,104m)</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>4,358,000千円</td> <td>(うち令和5年度末の実施予定事業費 3,750,305千円)</td> </tr> <tr> <td>事業予定期間</td> <td>平成5年度～</td> <td>令和15年度 (41年間)</td> </tr> </table>			利用区域面積	996ha	[人工林面積:871ha (87%)]	受益戸数(森林所有者数)	167戸		幅員	3.5～4.0m		計画延長	16,200m	(うち令和5年度末の供用予定延長 12,104m)	総事業費	4,358,000千円	(うち令和5年度末の実施予定事業費 3,750,305千円)	事業予定期間	平成5年度～
利用区域面積	996ha	[人工林面積:871ha (87%)]																		
受益戸数(森林所有者数)	167戸																			
幅員	3.5～4.0m																			
計画延長	16,200m	(うち令和5年度末の供用予定延長 12,104m)																		
総事業費	4,358,000千円	(うち令和5年度末の実施予定事業費 3,750,305千円)																		
事業予定期間	平成5年度～	令和15年度 (41年間)																		
概 要	【事業の進捗状況】 起点側上那賀工区と終点側木頭工区の両方向から進めており、令和5年度末現在、上那賀工区側5,794m、木頭工区側6,310mの開設・供用を予定しており、進捗率は75%となっている。 <div style="text-align: right;">[進捗率:75%]</div>																			
	【関連事業の整備状況】 これまで1,917haの森林整備が実施されるなど、路線の周辺では林道の延伸により森林整備や木材生産活動が活発に行われている。																			
	【社会経済情勢の変化】 本県は県土の4分の3を森林が占め人工林率も約60%と高い。森林資源量はこの40年間で約3倍にまで増加し、その大部分が利用可能な状態まで成長している。県では、利用期を迎えた豊富な森林資源を活用するとともに、カーボンニュートラルにも資する森林循環(伐って、使って、植える)を進めることにより、森林・林業を「核」とした「地方創生」の実現を目指している。 木材を安定的に生産・供給し、林業・木材産業の成長産業化を図るには、搬出コストの低減が必須であり、高性能林業機械の導入や効率的な木材輸送のための、林道を「核」とした路網整備が強く求められている。																			
評 価	【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】 無し																			
	【事業効果の発現状況】 供用開始した区域を利用し、平成5年度から令和4年度までに、延べ1,917haの施業が実施されている。今後も供用区間の増加に伴い、搬出間伐などの森林整備が計画されている。 <div style="text-align: right;">[費用対効果] 1.45 (国の採択基準は1.0以上)</div>																			
目	【受益者・関係機関の意向】 高性能林業機械の導入による木材搬出経費の縮減を図り、適切な森林管理を行う上で、基盤となる当林道の早期整備が強く望まれている。 また、旧上那賀町と旧木頭村を連絡し、地域の交通ネットワーク形成に果たす役割も期待されていることから、関係町、森林所有者等は早期完成を望んでいる。																			
	【事業の実施方針】 継続して事業を実施する。																			